

ラジオ木曜ナイト

田舎の大庭らの町びよりあけで

4月9日
1949年

全國人民的運動
大學生的前進

京大救援会に
も
膳の御協力を!!

四月九日、参議院議員会館にて、田英夫氏ら共産党を除く全政党の国會議員・労働界・知識人宗教界の方々十八名の呼びかけによりカンボジア救援センターの発会式が行なわれました。(詳しくは会報四号で報告します。)

カンボジア現地と日本を結び、
募金の収約と送付・救援運動に必
要な現地と国内情報の提供・全国
を取り結ぶ連絡等を行なうセンター
が設立されたことは、今後の救援
運動の発展にとつて大きな意義を
持つています。

京大からも、賛同人の林助教授
ら十名もの会員が参加したのを始
め全国から三十一団体が参加し、
会場を埋めつくしました。

ムの内、ボンボシア侵略は新しい状勢を反撲してくる。ソ連のアフガニスタン戦略と結びつけて理解すべきだ。トナムの侵略の実態を知らせたい」と述べられました。河野洋平氏・堀谷一夫氏・土井たか子氏等の盛会を喜ぶ発言やメヌリジが続いた後、民主力量ボンボニア赤十字社と民主カンボジア政府からのメッセージが紹介されまし

だ。ベトナムの問題は人事ではない。と発言されました。

ひときわ注目を浴びたのは、歌手のアグネス・チャンさんが来られ、あいさつされたことです。彼女は、カンボジア難民救済コンサートを香港の学生らと行なった経過を述べられ、できる限り努力したい、と熱意をこめて語られました。

範な労働者・農民・学生・市民が
更に自分たちの運動を發展させ
ことが不可決です。超党派の国是
的運動を各地で、私たち一人一人
の力で作りあげることが何よりも
カンボジアの、飢えと病と戦火に
苦しむ人たちを勇気づけることであ
しょう。

精華大學學長は「カンボジアは三
期作業がえ可能などころ、農村主体
の生産國となつて喜んでいたら今

員会の学生から若い力を結集させたいと意欲的な發言があつた後

○隣人としての友情をこめてメサ
セレジを送ることが承認されました。

最後に、民主カンボジア赤十字
社・カンボジア政府对外友好委員

カンボジア、歴史センター

貰送り先
日本古文書出版社

民主カンボジア小平子

ガニボニアノアソブセニタ

本年二月、セニターを準備させていた
が、それがまたもので

おもむろに上級会を
予定どおり見合

京大カンボジア救援会会報

号 4. 11

編集・発行

京大カンボジア
救援金事務局

連絡先

(内線8388)

会員登録

飢えと病に苦しむカンボジアの難民問題は未だに解決していません。七十八年末にベトナムによる大規模な侵略が始まって以降、カンボジアからタイに逃げ出す難民は七十万人以上に上ります。

十万人になろうとしています。カンボジア国内にも、ベトナム軍の破壊、略奪に苦しむカンボジア人は百万人以上に上ります。

一時は米を輸出できる程復興した、豊かな米どころカンボジアが、朝夕ともに荒れ果ててしまつたのでしうか。同じアシア大陸につづっている悲惨を現実に、私達は目をつむるわけにはいきません。

このような現実を知つて頂くため、十六、十七日に「カンボジアの現実を知ろう! 写真展」を催します。最近、タイの難民キャンプとカンボジアを訪れた方が持ち帰つた写真を展示します。当日四時からは、林功三先生(教養部 独語)ら、賛同人の方々を招え、賛同人をかこむ集いを催します。賛同人に至られた経緯や、カンボジアのこと、大学のこと等も話しかけていたいと思いますので、多くの方の参加を待っています。

→ 笑顔で救援物資を迎えるカンボジアの女性たち
新入生の皆さん／学生、教職員の皆さん／
御存知の方も多いと思いますが、
アスリート、選手、スモウ使用／

16・17日写真展へ！ (午後1~4時 中央13)

賛同人をかこむ集い (午後4時~中央13)

です。これは、カンボジアを侵略し続けるベトナム軍が造ったもの。もとより、他国を侵略する事は許す事ができません。七十九年十一月国連総会でも、カンボジアから全ての外国軍隊の撤退を要求する決議が採択されました。私達は、この決議がすぐに実現される事を望むとともに、毒ガスマスクといふ兵士・非戦闘員、老若男女を問わ

し��けるベトナム軍が造ったもの。これが即時中止される事を願つて止みません。

飢えと病に苦しむ人々に米と薬を！ カンボジアに平和と独立を！ カンボジアの現実を知ろう！ 写真展に来場を！

新入生会員からのお問い合わせ

「カンボジア難民を救おう！」

というスローガンのもとにたとえどんなに募金活動をし、慈善団体を組織しても、僕達は絶対に生死の境をさまよひながら飢えます。最近、タイの難民キャンプとカンボジアを訪れた方が持ち帰つた写真を展示します。当日四時からは、林功三先生(教養部 独語)ら、賛同人の方々を招え、

賛同人をかこむ集いを催します。賛同人に至られた経緯や、カンボジアのこと、大学のこと等も話しかけていたいと思いますので、多くの方の参加を待っています。

カンボジア難民問題に少しで

と同化してしまい、同じ苦しみを味わっているような気分に陥りがちなのです。入会するあたり最も恐ろしかったのはその

底でした。自己陶酔型偽善におわるくらいならはじめから入会しないだければよいからです。

が懲りますので、カンボジアも興味を持っているみなさん、来る十六、十七日に写真展や賛同人の先生方を囲んでの集いが開催されるので、カンボジア開催を見える絶好の機会とさせてはいかがですか。また、ス